

先日は、手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたのでご覧ください。次回の「てがたん」は、5月8日(土)で、「鳥の子育て」がテーマです。ぜひ、ご参加ください。

(市民スタッフの皆さんへ:次回のてがたん下見&打合せは5月1日(土)9:30~12:00です。)

4月の観察コースと内容

- コース:鳥の博物館→手賀沼遊歩道→滝下広場→手賀沼遊歩道→けやき広場→釣り堀前広場(まとめ&解散)
- テーマ:サクラに集まる生き物
- 観察日時/天気:2010年4月10日(土)10:00~12:00/晴れ
- 参加人数:56人(一般36人、子ども20人)
- 市民スタッフ:12人(石原直子、大屋貴義、岡廣志、玄地昭八、小泉伸夫、須貝基康、染谷迪夫*、弘実さと子、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄、吉田一博) *今月の案内人
- 鳥博職員:1人(斉藤安行)

観察記録—4月に観察した生き物リスト—

【鳥】

カイツブリ科:カイツブリ/ウ科:カワウ/サギ科:コサギ、アオサギ/カモ科:カルガモ、コガモ/キジ科:コジュケイ、キジ/クイナ科:クイナ、バン、オオバン/チドリ科:コチドリ/カモメ科:セグロカモメ/ハト科:キジバト/カワセミ科:カワセミ/キツツキ科:コゲラ/ツバメ科:ツバメ/セキレイ科:ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科:ヒヨドリ('ソメイヨシノ'と'シダレザクラ'で吸蜜)/モズ科:モズ(雌雄接近)/ツグミ科:ツグミ/ウグイス科:ウグイス(さえずり)/シジュウカラ科:シジュウカラ/メジロ科:メジロ/ホオジロ科:アオジ(さえずり)、オオジュリン(繁殖羽の個体も確認)/アトリ科:カワラヒワ/ハタオリドリ科:スズメ('ソメイヨシノ'とエドヒガンの花の食痕あり)/ムクドリ科:ムクドリ/カラス科:ハシボソガラス(営巣)、ハシブトガラス

【魚類】

カダヤシ科:カダヤシ(滝下広場付近の水田脇の水路内に群れ確認)

【両生類】

ニホンアマガエル、ウシガエル

【昆虫】

- ・チョウ・ガの仲間:ツマキチョウ、モンシロチョウ、スジグロシロチョウ、キタテハ、ヤマトシジミ、キチョウ、イラガ(繭)、ヒロヘリアオイラガ(繭)
- ・甲虫の仲間:コガタリハムシ(成虫、幼虫)、ヨモギハムシ
- ・コオロギの仲間:タンボコオロギ(幼虫)、キンヒバリ(声)
- ・キリギリスの仲間:クビキリギリス、ヒメギリス(幼虫)
- ・バッタの仲間:ハネナガヒシバッタ、ヒシバッタ
- ・カメムシの仲間:ヨコヅナサシガメ、アブラゼミ(卵)

【植物(花)】

・キク科:ノボロギク、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、ノゲシ、オオジシバリ、ハルジオン/シソ科:ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、カキドオシ/ナデシコ科:コハコベ、ウシハコベ、オランダミミナグサ、ノミノフスマ、ハナハコベ/ゴマノハグサ科:オオイヌノフグリ、タチヌノフグリ、トキワハゼ/アブラナ科:タネツケバナ、ミチタネツケバナ、オランダガラシ、ナズナ、セイヨウアブラナ(栽培)/キンポウゲ科:タガラシ/ムラサキ科:キュウリグサ/バラ科:ユキヤナギ、オオシマザクラ、エドヒガン、ヤマザクラ、'ソメイヨシノ'、'シダレザクラ'、'ジュウガツザクラ'、ヤマブキ/マメ科:ゲンゲ、カラスノエンドウ/イネ科:スズメノカタビラ、スズメノテッポウ/イグサ科:スズメノヤリ/タデ科:ギシギシ/スミレ科:タチツボスミレ

* ' ' は、栽培品種名

4月の観察アルバム



⑪ 母親のエドヒガン × ④ 父親のおオシマザクラ



② 雑種第一代の品種「ソメイヨシノ」



② 満開のソメイヨシノ



案内役の染谷さん

←⑪ ほっそりとした嘴を花に差し込んで蜜を吸うヒヨドリ



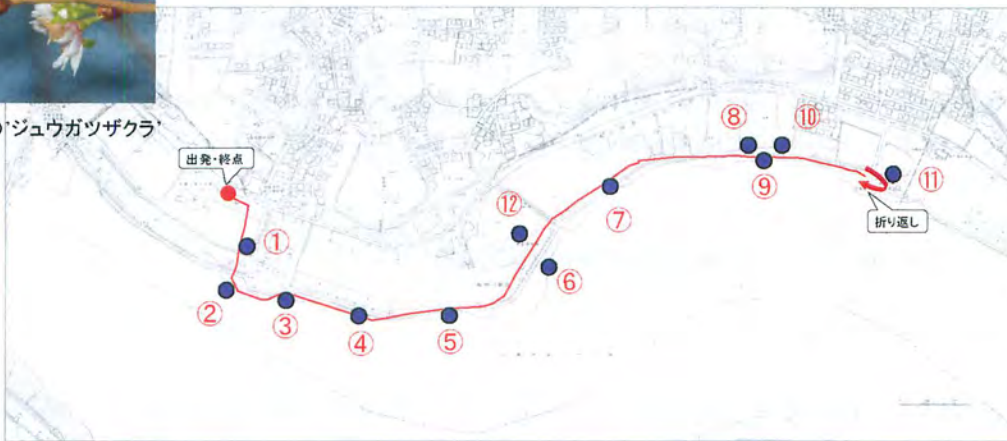
① 花をちぎって蜜をなめるスズメ



② サクラの樹皮上でくらすヨコヅナサシガメ



⑨ 二期咲きの「ジュウガツザクラ」



⑪ 春限定のツマキチョウ (写真は2008.3.29撮影)



⑥ カワセミも活動的でした



⑦ 移動前のアオジが さえずっていました



③ オオジュリンの 北帰行も始まりました



⑤ キバラケンモンの幼虫が ツツジの葉の上に たくさんいました



⑩ メダカと思いきや 外来種のカダヤシでした



⑫ ウシガエルも目覚めはじめ ました



⑧ ハシボソガラスが抱卵して います。円内は見守る パートナー。